

長野県社協 災害ボランティア・福祉支援情報	2023年度	No.9
	令和6年2月5日	
長野県社協災害福祉支援本部 電話 026-226-1882 fax026-227-0137		
ホームページ https://www.nsyakyo.or.jp/ メール vcenter@nsyakyo.or.jp		

「令和6年能登半島地震」により、被災された皆様に心より お見舞い申し上げます。被害情報・支援情報は、石川県ホームページ、全社協・被災地支援ボランティア情報ホームページをご参照下さい。

〔災害ボランティア本部情報〕

■被災者の皆様や支援者を支えるための募金への協力をお願いします。

- ・石川県「[令和6年能登半島地震に関わる災害義援金](#)」のお願い
- ・中央共同募金会「[ボラサポ・令和6年能登半島地震](#)」支援金募集

■ボランティアの力が求められています。

・被災地でのボランティアの活動について

交通事情等様々な制約がありますが、被災市町村ボランティアセンターや民間支援団体によりボランティアの受入れが始まっています。十分な情報収集を行ったうえで、支援活動を計画してください。

- ⇒ 一般ボランティアの募集は、石川県のボランティア受付に登録して、マッチングの連絡をお待ちください。
- ⇒ 炊出しについては、石川県のお問合せフォームから詳細（メニュー予定、何人前かなど）を連絡するよう周知されております。（[石川県HP](#)）
- ⇒ 能登町をはじめとする奥能登地域では、様々な支援技術や経験をお持ちのNPO等を対象として、ボランティアの受入れを行っている団体があります。詳しくは、長野県社協までお問合せください。

〔活動例〕 炊き出し、福祉・介護専門業務、簡単な大工仕事など

・大募集中！

- ⇒ 入浴支援のための「訪問入浴車」「簡易浴槽」「温泉」など
長野県介護福祉士会では、県内社協と協力して、奥能登地域で活動している災害NGOと連携して、入浴支援プロジェクトに取り組んでいます。（[県社協HP参照](#)）

〔募集中〕 訪問入浴車（一定期間支援団体に無償貸与できるもの）、訪問入浴用の浴槽、温泉を運ぶ資機材、温泉で足湯を行う活動団体

- ⇒ 使わなくなった「軽トラ」大募集！

被災地では、災害廃棄物の収集が準備されていますが、軽トラ不足が課題となっています。もう使わなくなった軽トラを無償でお貸しいただけないでしょうか。

- ・現地での活動に伴って傷ついたりしても差し支えないもの
- ・必要な状況：車検・保険が概ね3月末までであるもの、スタットレス、4輪駆動、原則個人名義でないもの

※ 御礼：阿智村社協様

■長野県内のボランティア活動への助成

- ・ 県社協では、被災地でボランティア活動を行う団体・グループの活動費の一部を助成する「長野県大規模災害ボランティア活動応援事業」の申請窓口となっています。助成対象となるボランティア活動は、次のいずれかのセンター等の募集に応じ、当該センター等の証明を受けることが可能な活動です。各センター等が、県外を含むボランティア募集を開始して以降の活動が対象となります。

- 被災市町村災害ボランティアセンター
- 被災市町村の指定避難所
- 長野県内に拠点のある災害NPO（長野県社協が協定を締結している団体）

- ・ また、次の助成金の申請も行われています。
 - ⇒ 災害ボランティア・NPO 活動サポート募金（ボラサポ・令和6年能登半島地震）
 - ⇒ 令和6年能登半島地震災害支援基金 連合長野・緊急助成（第1期助成）

■被災地災害ボランティアセンターの運営支援

- ・ 全社協災害ボランティア支援プロジェクト会議（支援P）
長野県内社協DSAT（災害VC運営支援者）先遣隊は、全社協災害ボランティア支援プロジェクト派遣として、奥能登地域の災害ボランティアセンターの運営を支援しています。
- ・ 関プロ社協災害時相互応援協定に基づく派遣
石川県中能登町災害ボランティアセンターの支援のため、同協定に基づく支援要請があり、長野県内からも3名（県社協1名、市町村社協2名）×2クルールの派遣を準備しています。
- ・ 県内市町村の取り組み
茅野市社協では、行政が総合応援協定を締結している富山県氷見市災害ボランティア・支え合いセンターへ職員の応援派遣をおこないました。

活動期間：1月5日～1月23日
ニーズ件数：ボランティア派遣依頼件数（累計） 171件
活動件数：ボランティア活動人数のべ539人 派遣先のべ117件
応援派遣職員：2～3名×5クルール（1クルール4日間）

[長野県災福ネット情報 … 県内福祉等の23団体で構成 …]

■長野県災害派遣福祉チームについて

長野県災福ネットでは、市町村社協、社会福祉団体、社会福祉法人の協力を得て、石川県能登町の依頼にお応えして災害派遣福祉チームを派遣しています。1月19日、同町小木支所敷地内に福祉避難所の開設を支援。当面の間、長野チームが主体となって避難所運営を支えます。また、小木中学校に福祉チームを常駐させて「福祉なんでも相談」を実施しています。



石川県能登町健康福祉課福祉係

千場課長補佐（写真左）

「各避難所で、高齢者等の介護や支援が必要な方をギリギリの状態を支えている状況の中、長野県ふくしチームが中心となって福祉避難所を設置。心配な方を受け止めることで、現在でも40か所を越える避難所運営が何とか回っている状況です。引き続きの支援を、ぜひ、お願いします。」

■長野県災福ネット緊急セミナー（2月15日（木）14:00～、オンライン）

長野県災福ネットの石川県能登町への支援活動について、これまでの経過と、今後の取り組みについて学ぶオンラインセミナーを開催します。

グーグルフォーム（右記 QR コード及びリンク）にて2月12日（月）までにお申込みください。

<https://forms.gle/cjMyZcqFYDGQfMen6>



小木中学校避難所で大好評のラジオ体操。他の避難所でも取り入れるようになっていきます。



二次避難の案内、自宅の片付けボランティアちらしなど、様々な情報掲示（小木中避難所）



福祉避難所で、その人にあわせてくつろいでいただくコーナーを設置。

■長野県ふくしチームの滞在拠点（石川県能登町のと海洋ふれあいセンター）

トレーラーハウスに加えて、無償貸与いただいているキャンピングカー等の車両3台をあわせて、最大16名が宿泊して、支援を継続しています。引き続き、キャンピングカー、ボックスワゴンタイプの車のご提供をお願いします。



（御礼：キャンピングカー（キャンピングカー長野様、フロッタモビール様）、ボックスワゴン（木島平村社協様）